

## ヨハネによる福音書 ふくいんしよ

しるし

道路どうろを利用りようする人ひとのためのしるしとして道路標識どうろひょうしき

があります。道路標識どうろひょうしきにどんなものがあるか、つぎ

の空白くわいはくに書いてかください。

## ヨハネによる福音書 ふくいんしよ

最初さいしよの福音書ふくいんしよとしてマルコによる福音書ふくいんしよが書かかれ

た頃は、イエスさまが神かみの子こであり、キリストなんだ

という点てんに関心かんしんがおかれていたのです。そこではむし

ろ、イエスさまの行動こうどうのうちに、栄光えいこうにあげられた

イエスさまの姿すがたを見つみけようとなりました。つまり、

ガリラヤで民衆みんしゆうと共に行動こうどうされたイエスさまの姿すがた

の中に、神かみの子ことしてのキリストの姿すがたを見いみだそう

としたのです。

こうして、復活ふっかつしたイエスさまとの出で会あいは、まさ

にガリラヤで行動こうどうしたイエスさまの姿すがたを知しることに

よつて強められていったのです。

しかし、ヨハネによる福音書が書かれた頃になると、

直接にイエスさまを見た者がほとんどいなくなり、

ガリラヤのイエスさまは過去の人となつてしまいつ

つありました。そこで、過去のイエスさまではなく、

現代に生きているイエスさまを描く必要がでてきたのです。

ヨハネによる福音書においては、奇跡を、「しるし」

として伝えていきます。奇跡物語は、ただ単に過去に生

きたイエスさまの偉大な行動ではなく、現代でもおこ

りうる物語として伝えられる必要がでてきたのです。

それは、過去に生きたイエスさまの奇跡ではなく、今

も復活して生きているイエスさまのしるしなのです。

現代に生きている弟子である私たちは、このしるし

を見て信じなければいけないのです。

